

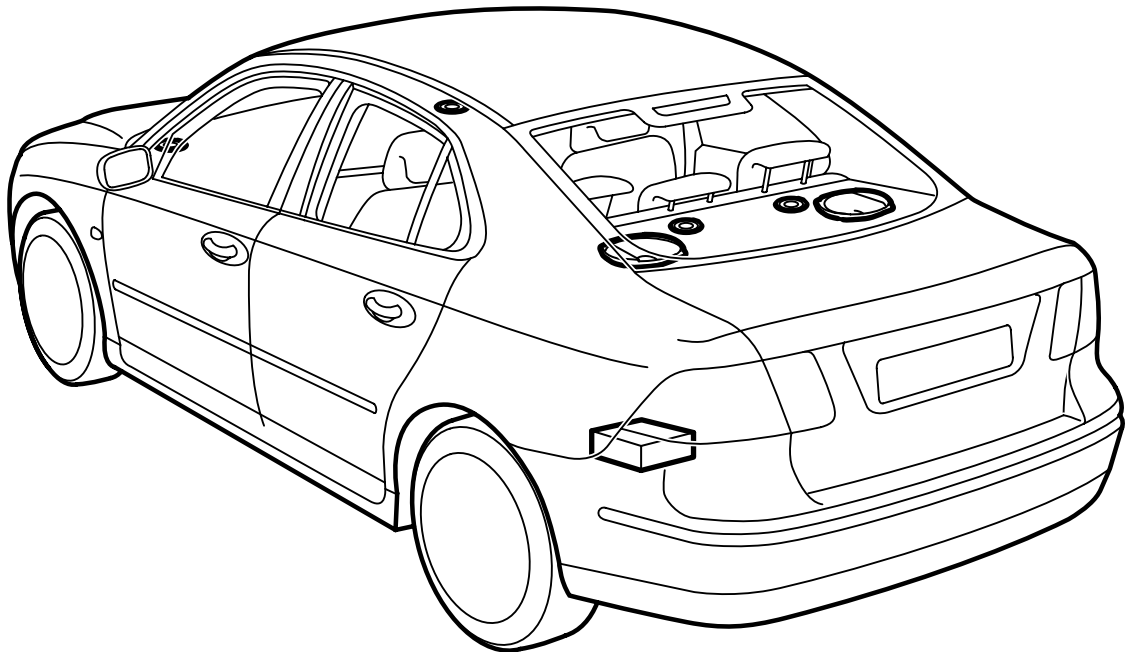


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

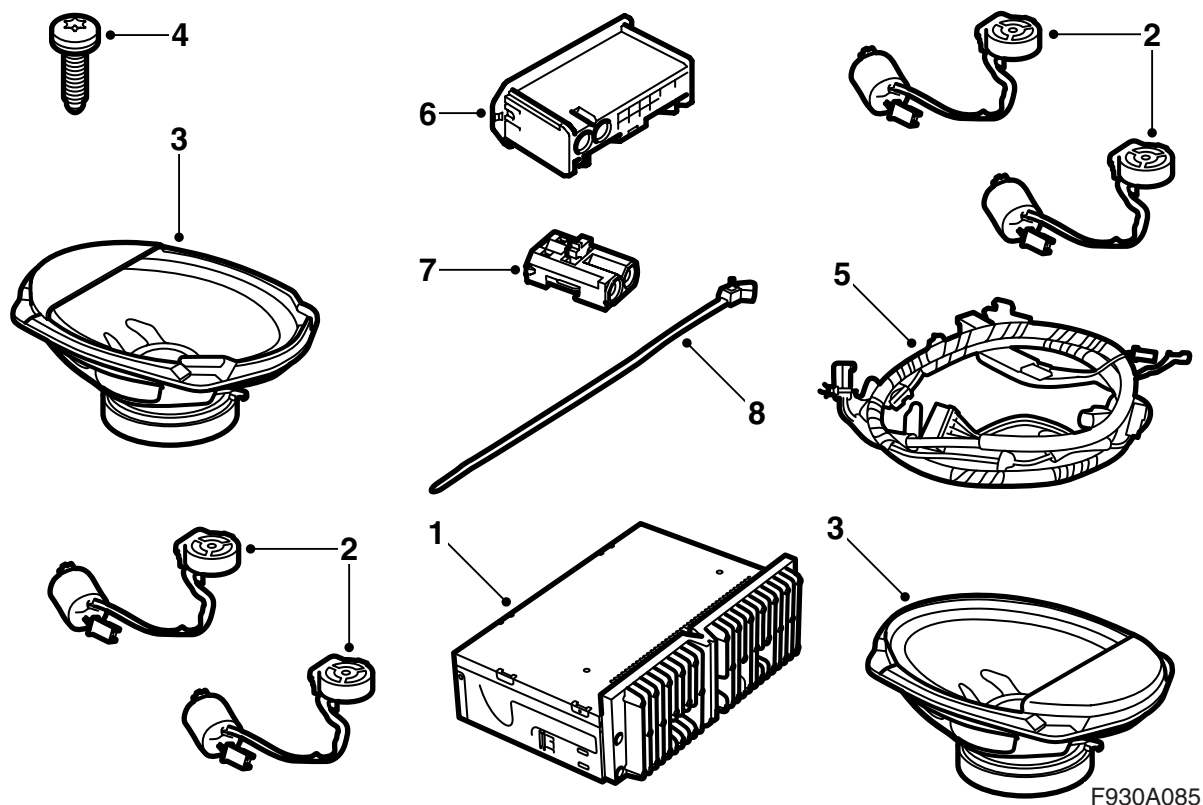
Saab 9-3 4D M03-

サウンドシステム プレステージ 300 へのグレードアップ

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 787 154 32 000 556	9:36-22	Feb 05	12 788 464	12 788 464 Nov 02



F930A084

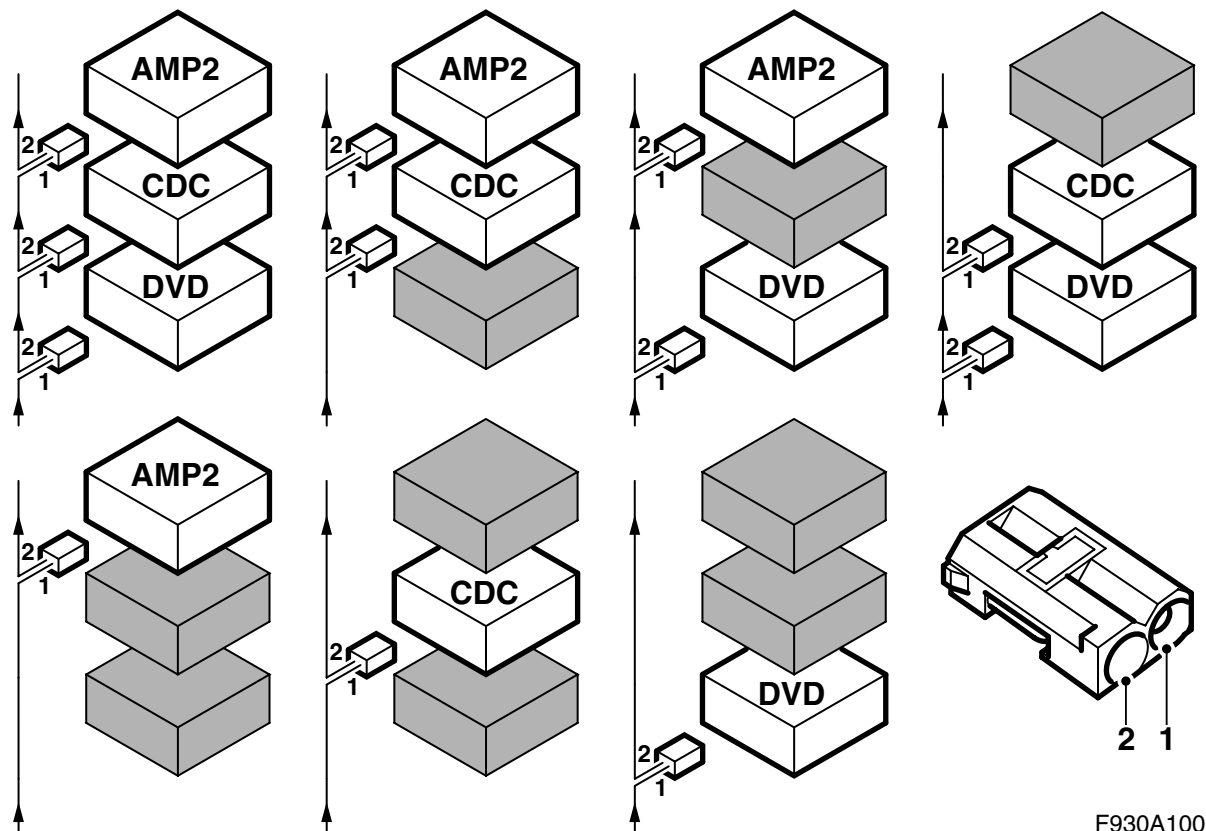


- 1 アンプ
- 2 トゥイーター (x4)
- 3 ウーファー (x2)
- 4 ボルト (x8)
- 5 ワイヤハーネス
- 6 キャップ、コネクター
- 7 コネクター 光ケーブル、2極
- 8 クリップ付きケーブルタイ
- 9 光ファイバーケーブル (図には記載されていない)
(トランクルーム内のブラケットに他の装置がある場合にのみ使用)

その他に以下のパーツが必要 (別途発注のこと)

ラゲッジスペース内装備用ブラケット (一部の車) は次のもので構成されている。

- ブラケット
- ネジ (x3)
- ナット
- クリップナット
- サイドトリム



F930A100

バス通信

車の電気システムの多くの部品がバスを使って通信を行う。バス通信には、P-バス (Powertrain Bus、パワートレインバス)、I-バス (Instrument Bus、計器バス)、O-バス (Optic bus、光バス) の3種類がある。オーディオシステム、ナビゲーションシステムやテレフォシステムなどと一緒に O-バスを介して通信を行う。

O-バスは光学式でありリングバスである。2本の光ファイバーケーブルがバス上にあるそれぞれの制御モジュールに接続されており、1本は受信用、もう1本は送信用である。受信したメッセージはそれぞれの制御モジュールで光信号から電気信号に変換され、送信時には光信号に変換しなおされる。O-バスのデータ転送速度は 25 Mbit/s である。

重要事項

O-バスに接続されているものは全て、特別な順序 (図を参照のこと) で接続され、リングがいつも閉じていることが非常に重要である。

この取付説明書にある記述以外の方法で接続すると、車の多くのシステムが機能しなくなる結果を招く場合がある。

AMP1 は左フロントシート下のアンプ

AMP2 は REC (リアエレクトリカルセンター) そばのアンプ

CDC は REC (リアエレクトリカルセンター) そばの CD チェンジャー

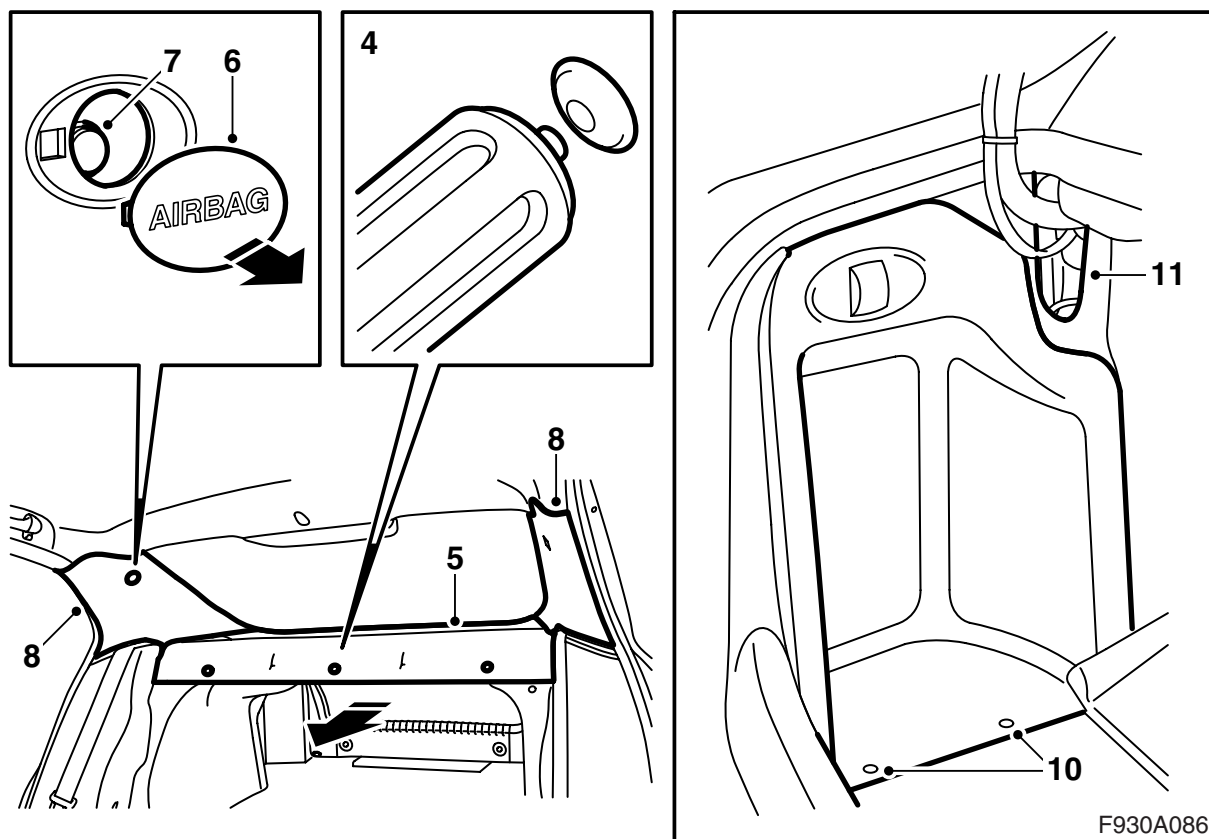
DVD は REC (リアエレクトリカルセンター) そばの DVD プレーヤー

O-バスに接続する新たな装備品の取り付けに際しては、既存装備品の正しい側に接続することが重要である。

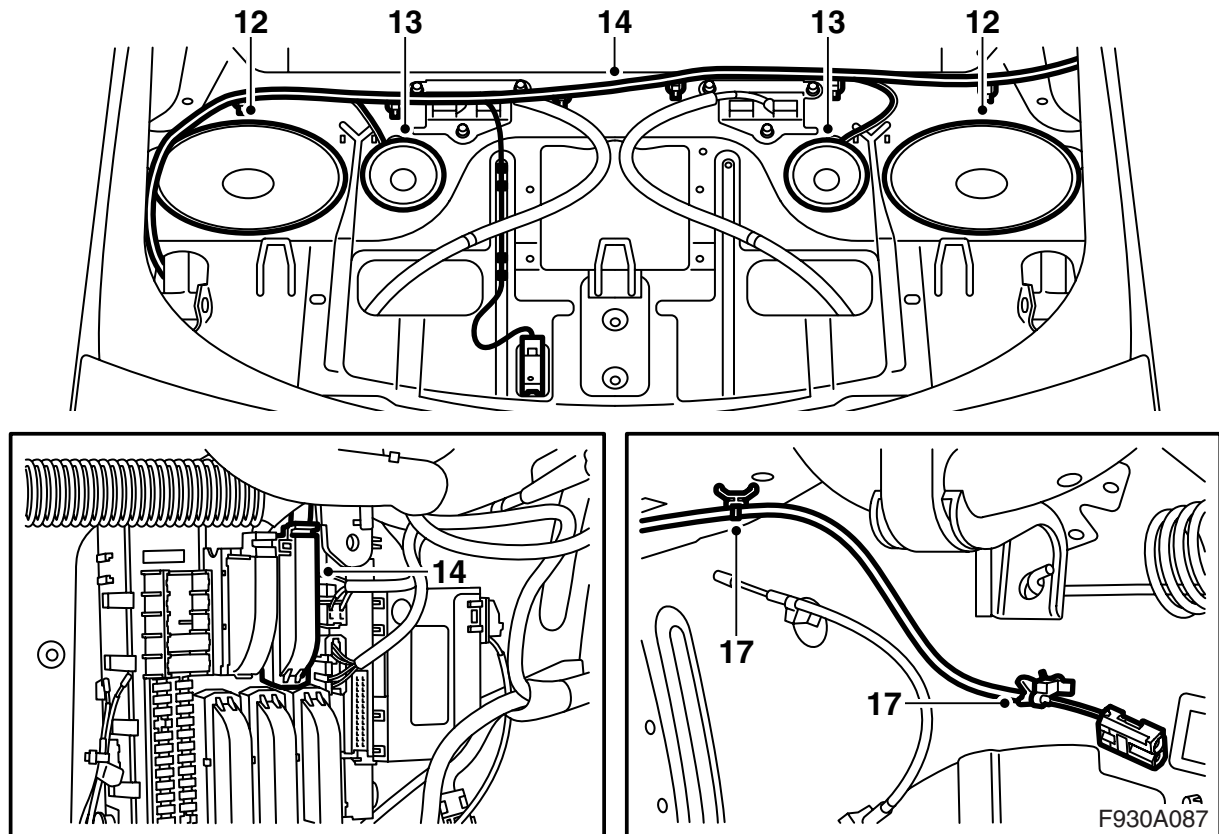
重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り間違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルはスプライスできない (継ぐことができない)。
- ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルを 85 °C 以上の高温にさらしてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



- 1 トランクリッドを開く。
- 2 バッテリーのマイナスケーブルを取り外し、イグニッションスイッチからキーを抜き取る。
- 3 リアシートのバックレストを倒す。
- 4 パーセルシェルフのトリムを保持しているクリップを取り外す。
- 5 パーセルシェルフのトリムを真っ直ぐ前方に引く。
- 6 Cピラーのトリムからカバープレートを取り外す。
82 93 474 取り外し工具を使用する。
- 7 Cピラートリムのボルトを緩める。ボルトは、ボルトに装着されているエキスパンダーが紛失する可能性があるため、完全に抜き出してはならない。
- 8 ボルトと一緒にトリムを慎重に前方へ引っ張ることにより、Cピラートリムを取り外す。
- 9 トランクルームフロアを前方へ倒す。
- 10 トランクルームの左サイドトリムのハッチを取り外し、右側のハッチを下に倒す。
- 11 左サイドトリムのクリップを取り外し、トリムを邪魔にならないように除けておく。右側についても同様にする。

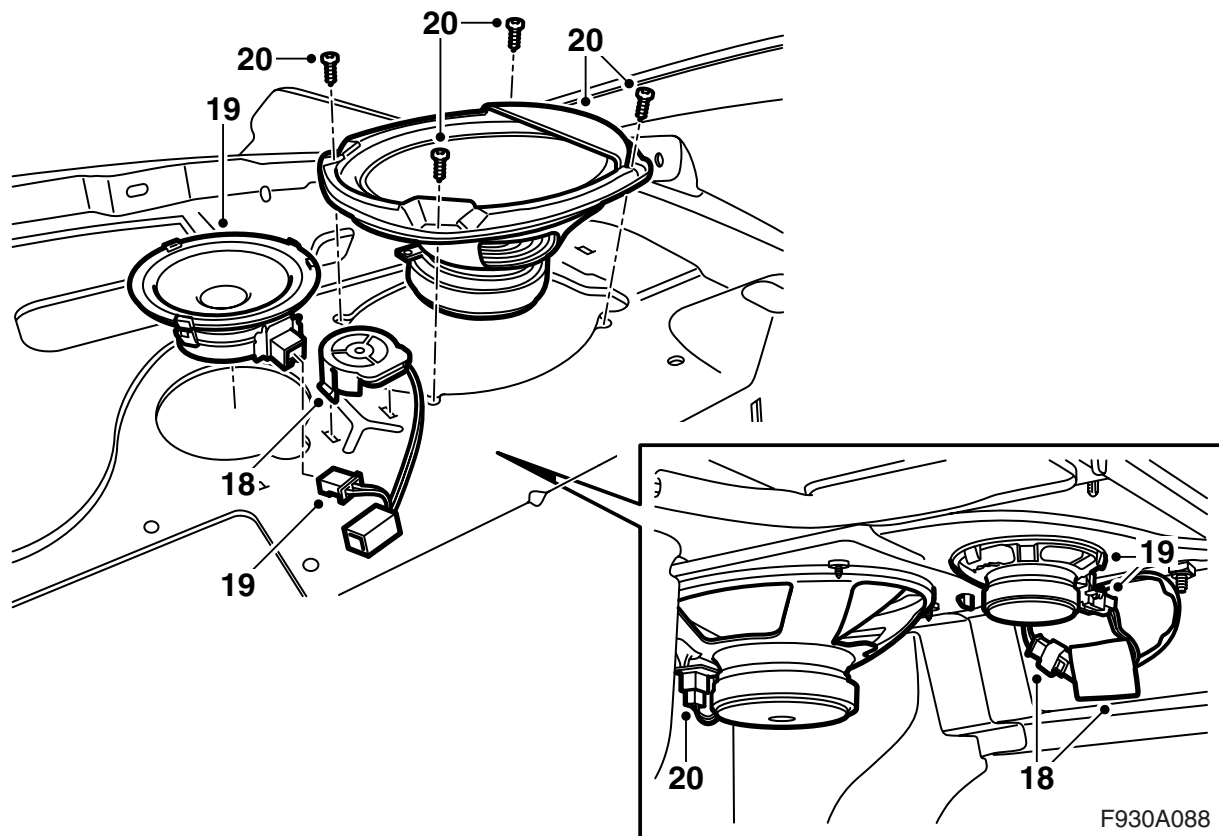


- 12 下側から上方へ押すことにより、各ウーファー用カバーリッドを取り外す。
- 13 パーセルシェルフ内の各ブロードバンドスピーカーからコネクターを取り外し、各スピーカーを取り外す。
- 14 パーセルシェルフからワイヤーハーネスを取り外し、REC (リアエレクトリカルセンター) 内の接続を取り外す。
- 15 新しいワイヤーハーネスをパーセルシェルフ上に取り付け、接続する。
- 16 各スピーカー用のケーブルをパーセルシェルフにあるブロードバンドスピーカー穴を通して下に敷設する。
- 17 ファイバーケーブルを車の右側に下ろし、クリップ付きケーブルタイで固定する。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

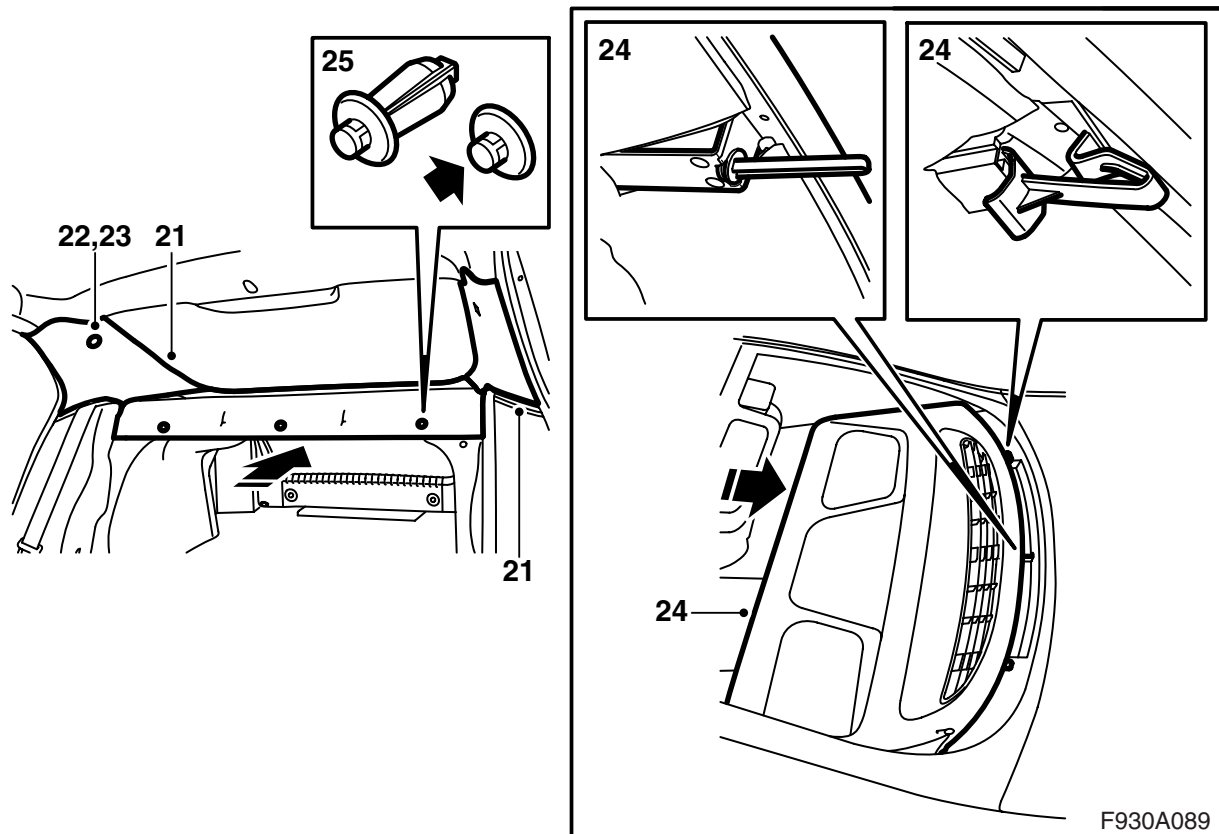


- 18 各穴に押し込み固定することにより、各ツイーターを取り付ける。各スピーカーを接続し、それぞれのワイヤーハーネスにある発泡樹脂スリーブをスライドしてコネクタをおおう。

注記

各ツイーターはそれぞれの接続部が異なる方向となるように取り付ける必要がある。

- 19 各ブロードバンドスピーカーを接続し、取り付ける。
- 20 各ウーファーを接続し、それぞれのカバーが側方に向くようにして取り付ける。



- 21 C ピラーのトリムを元の位置に戻す。エキスパンダー付きのネジが正しい位置に来るようにする。

警告

シールドカーテンを損傷しないように慎重を期すこと。損傷すると側面衝突があったときに乗員保護が十分できなくなる結果を招くことがある。

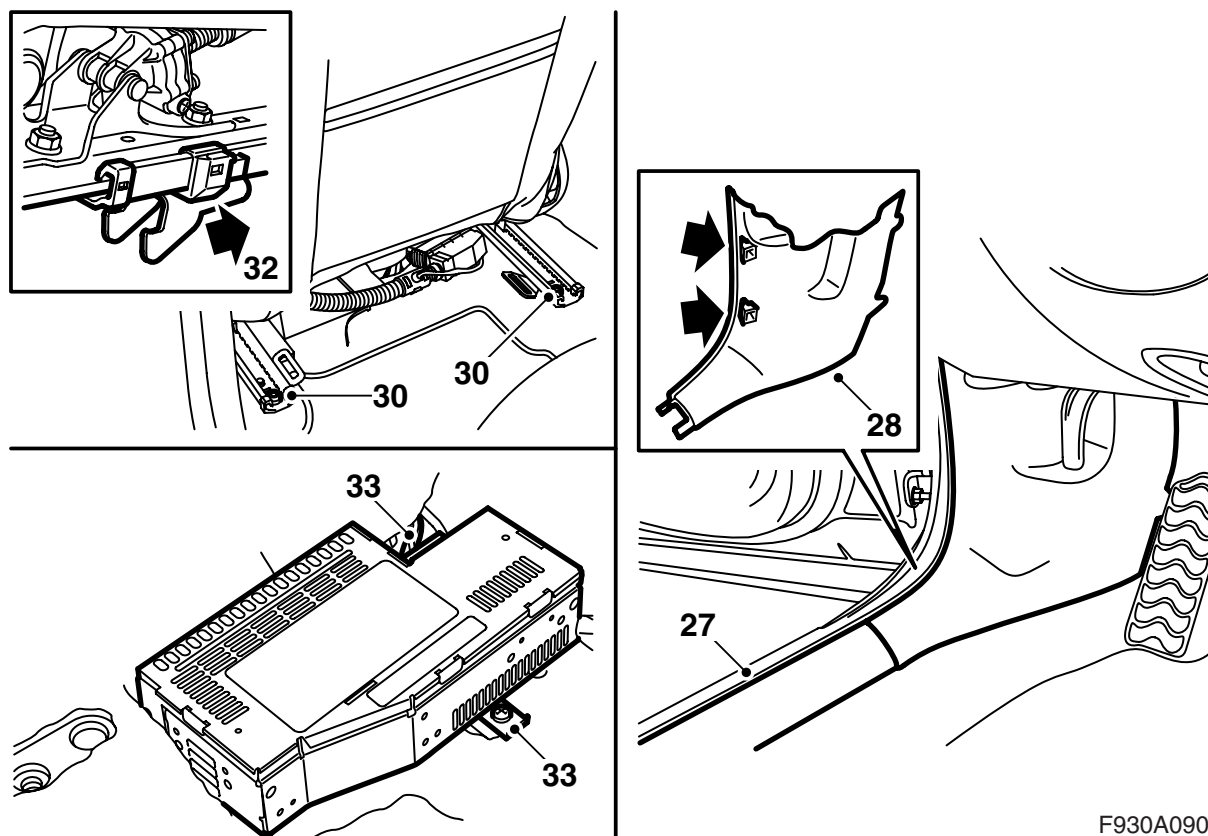
- 22 ネジを締め付ける。

締め付けトルク 2 Nm (1.5 lbf ft)

- 23 Cピラーのトリムにカバーワッシャを取り付ける。
 24 パーセルシェルフトリムを挿入する。各ガイドがパーセルシェルフパネルの各取り付け具にきちんと入るように慎重を期す。
 25 パーセルシェルフのトリムにクリップを取り付ける。
 26 バックレストを起こす。バックレストがロックされていることを確認する。

REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットのない車: 手順 27 を続ける。

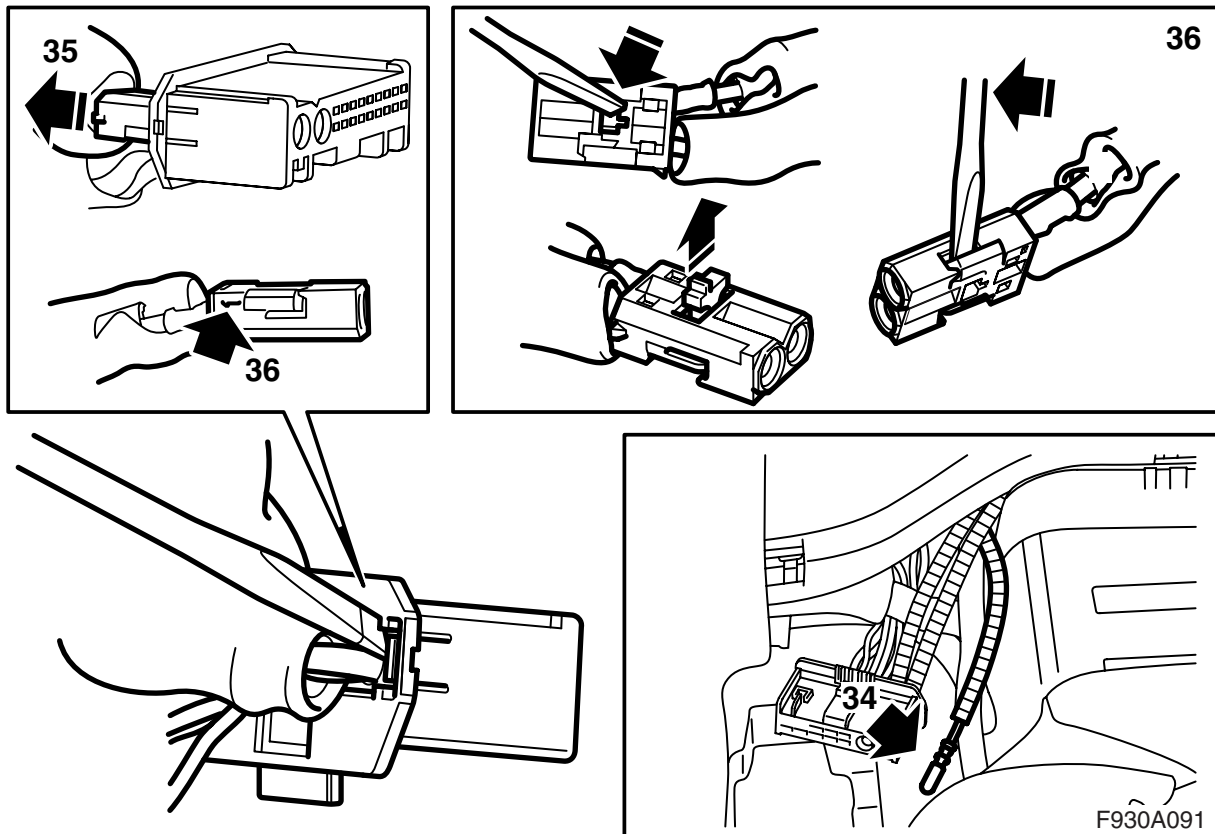
REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットが取り付けられている車: 手順 62 を続ける。



F930A090

REC (リアエレクトリカルセンター) そばにプラスチックのない車

- 27 フロントスカッフプレートを車の左サイドから取り外す。
- 28 左側Aピラートリムのアンダーパーツを取り外す。
- 29 左フロントシートを前位置にスライドさせバックレストを前に倒す。
- 30 シートから後部固定ボルト2本を取り外す。
- 31 シートを前方に傾ける。
- 32 シートを後方に引っ張り、各固定フックが所定位置から外れるようにする。シート全体を後方に倒す。
- 33 アンプを取り外す。



REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットのない車

- 34 アンプ箇所の緑色のマークがついた光ファイバーケーブルを探し出す。

色でマークしてなく、REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットがないとき： 手順 58 および 59 の記述に従い、懐中電灯でアンプ箇所のファイバーケーブルを照らし、ラゲッジスペース内の各ファイバーケーブルを見て当該ファイバーケーブルを特定する。テープ片でマークをつける。

- 35 アンプのコネクターからファイバーケーブルのコネクター (小型コネクター) を取り外す。

- 36 1の位置に接続されているファイバーケーブルを、コネクターのクラスプを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。

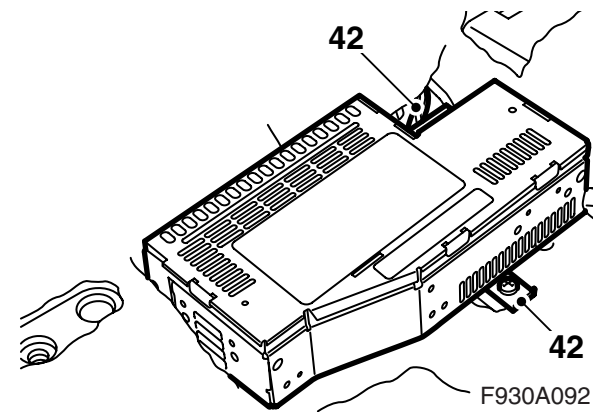
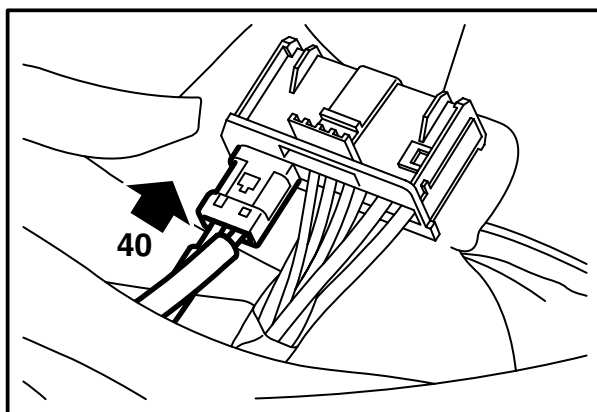
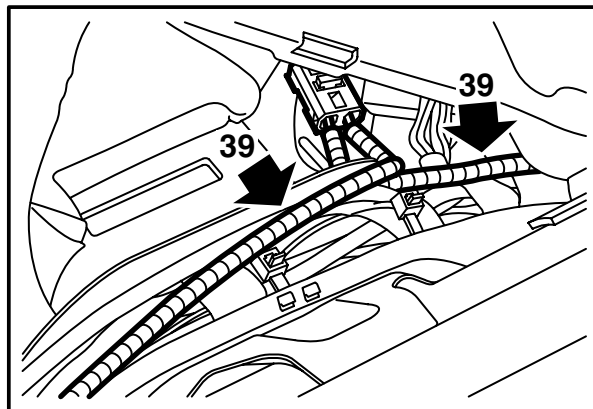
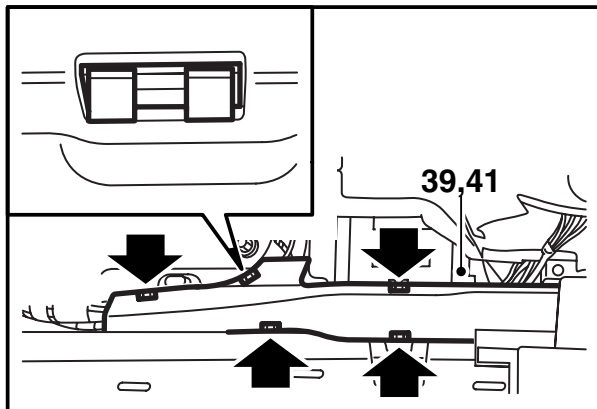
- 37 追加ファイバーケーブルの接続部からカバーを取り外す。

- 38 取り外したファイバーケーブルの接続部分に保護カバーを取り付け、ファイバーケーブルを (損傷しないため) 注意深くどける。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。



REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットのない車

- 39 ケーブルダクトのリッドを取り外し、ファイバーケーブルが折れ曲がらないことを確認してファイバーケーブル接続部をアンプの小型コネクターの位置1に取り付ける。クラスプを取り付ける。

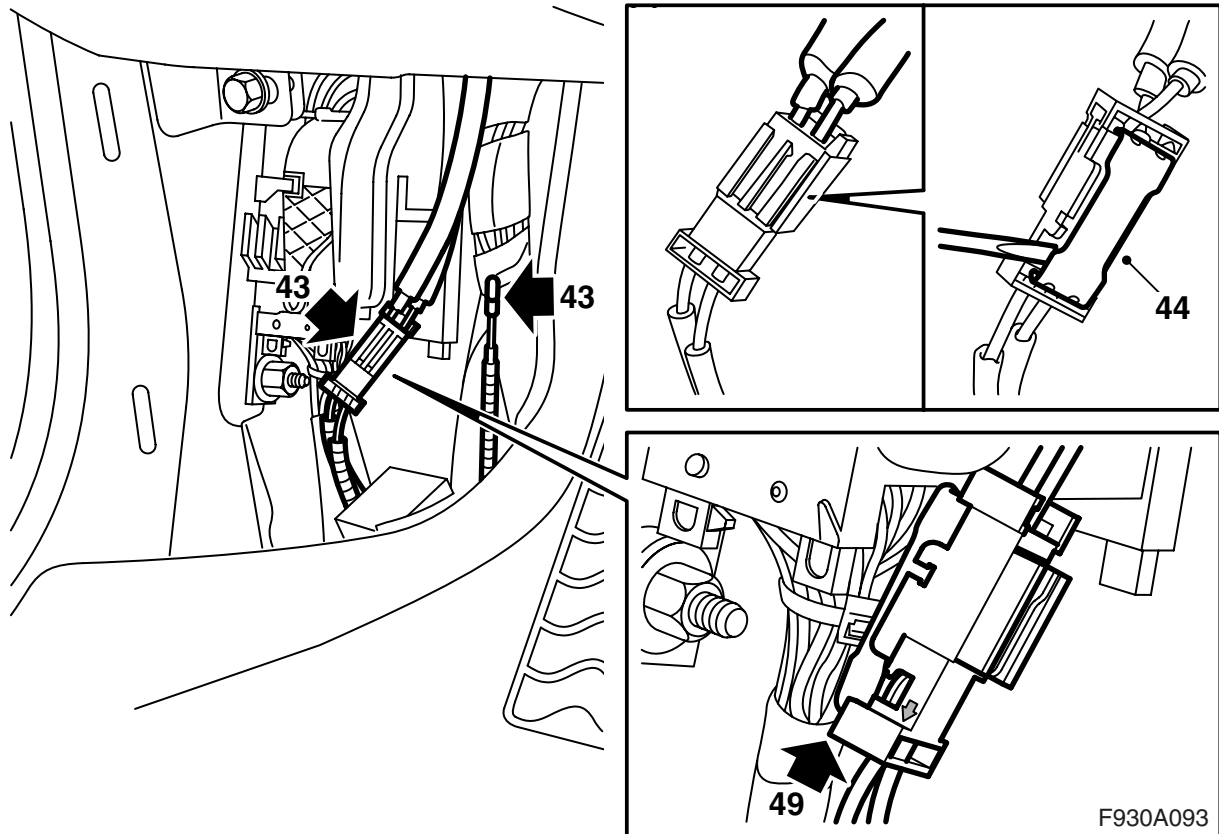
- 41 ケーブルダクトにリッドを取り付け、マットを元通りに直し、コネクタと各ケーブルをマットの穴から外へ出す。
- 42 アンプを接続し、取り付ける。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 40 小型コネクタを大型コネクタに取り付ける。



REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットのない車

- 43 左 A ピラーそばにあるファイバーケーブルが接続されたコネクタと接続されていないファイバーケーブルを探し出す (ケーブルダクトにテープ止めされている)。

警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

- 44 コネクタの留め金を持ち上げる。
45 コネクタの矢印がファイバーケーブルに向かって外側を向いている位置からファイバーケーブルを取り外す。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

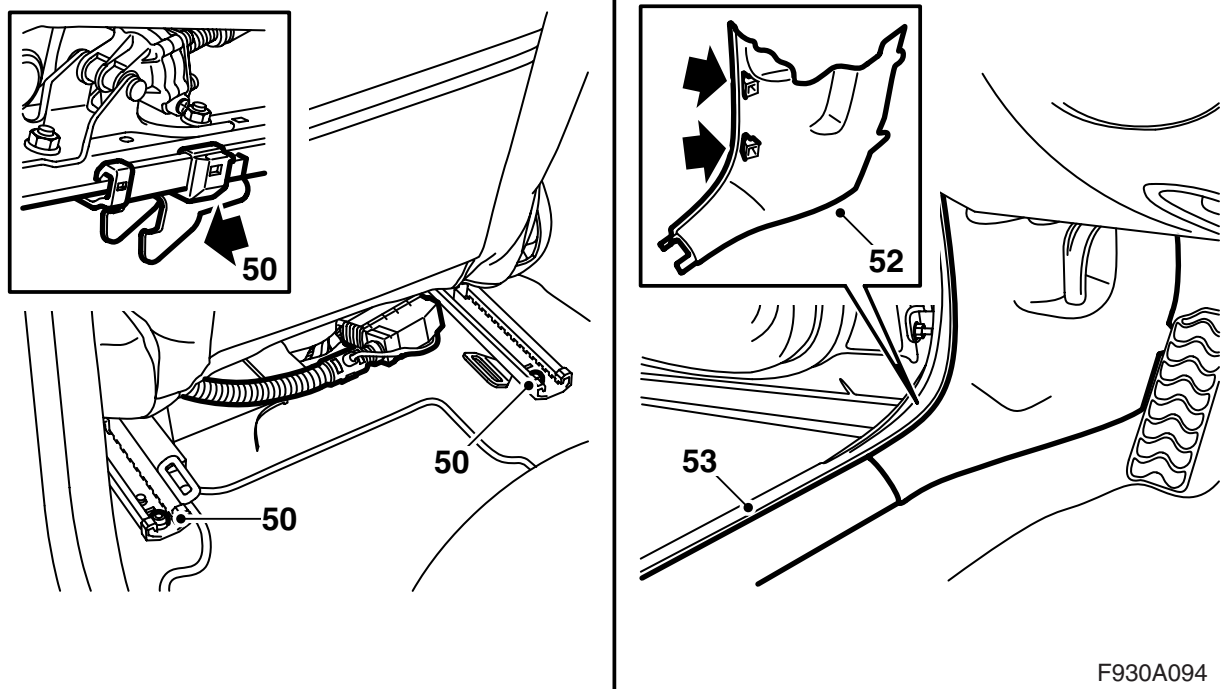
- コネクタ内の 2 本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径 25 mm 以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 46 接続されていないファイバーケーブルから固定テープを取り外す。

- 47 接続部からカバーを取り外す。

- 48 取り外された接続部にカバーを取り付け、損傷しないように注意しながらどけ、ワイヤーハーネス後方に配置する。

- 49 新しいファイバーケーブルの接続部をコネクタに取り付け、ロック金具を取り付ける。



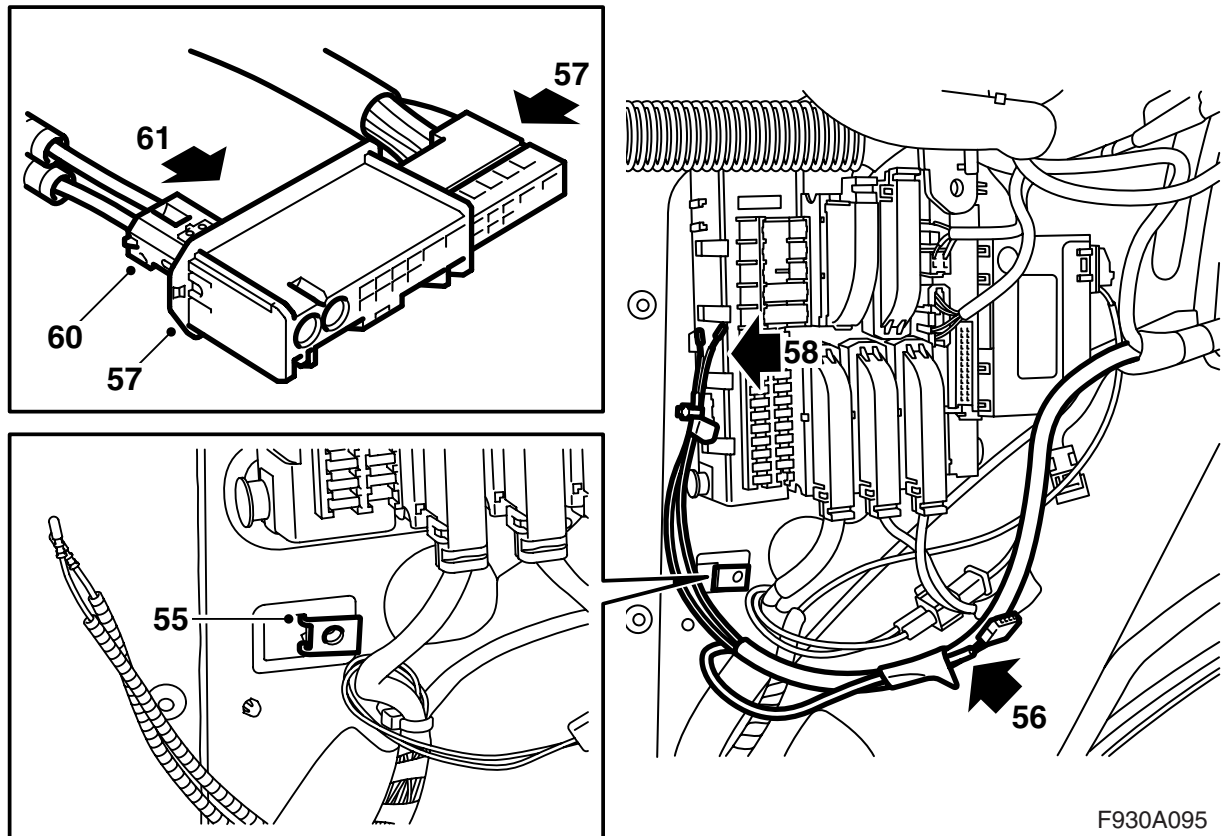
F930A094

REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットのない車

- 50 シートを正しい位置にする。固定フックがそれぞれ正しいキャッチにはまることをよく確認の上、リア固定ボルトをそれぞれ取り付ける。

締め付けトルク 30 Nm (22 lbf ft)

- 51 シートを後方にスライドさせ、バックレストを元通りにする。
- 52 Aピラートリムを取り付ける。
- 53 スカッフプレートを取り付ける。



F930A095

REC（リアエレクトリカルセンター）そばにブラケットのない車

- 54 ブラケットをラゲッジスペースに配置する。
- 55 クリップナットを REC（リアエレクトリカルセンター）そばの角穴に取り付ける。
- 56 REC（リアエレクトリカルセンター）そばのアンプ用コネクタを探し出す。テープを取り外し、コネクタを引き出す。
- 57 アンプコネクタにカバーを取り付ける。
- 58 REC（リアエレクトリカルセンター）そばの各ファイバーケーブルを探し出す。
- 59 各ファイバーケーブルの接続部からカバーを取り外す。

- 60 ファイバーケーブルの緑色のマークがついた接続部を操作ユニットの小型コネクタの位置 1 に、ファイバーケーブルのマークのない接続部を小型コネクタの位置 2 に取り付ける。

重要事項

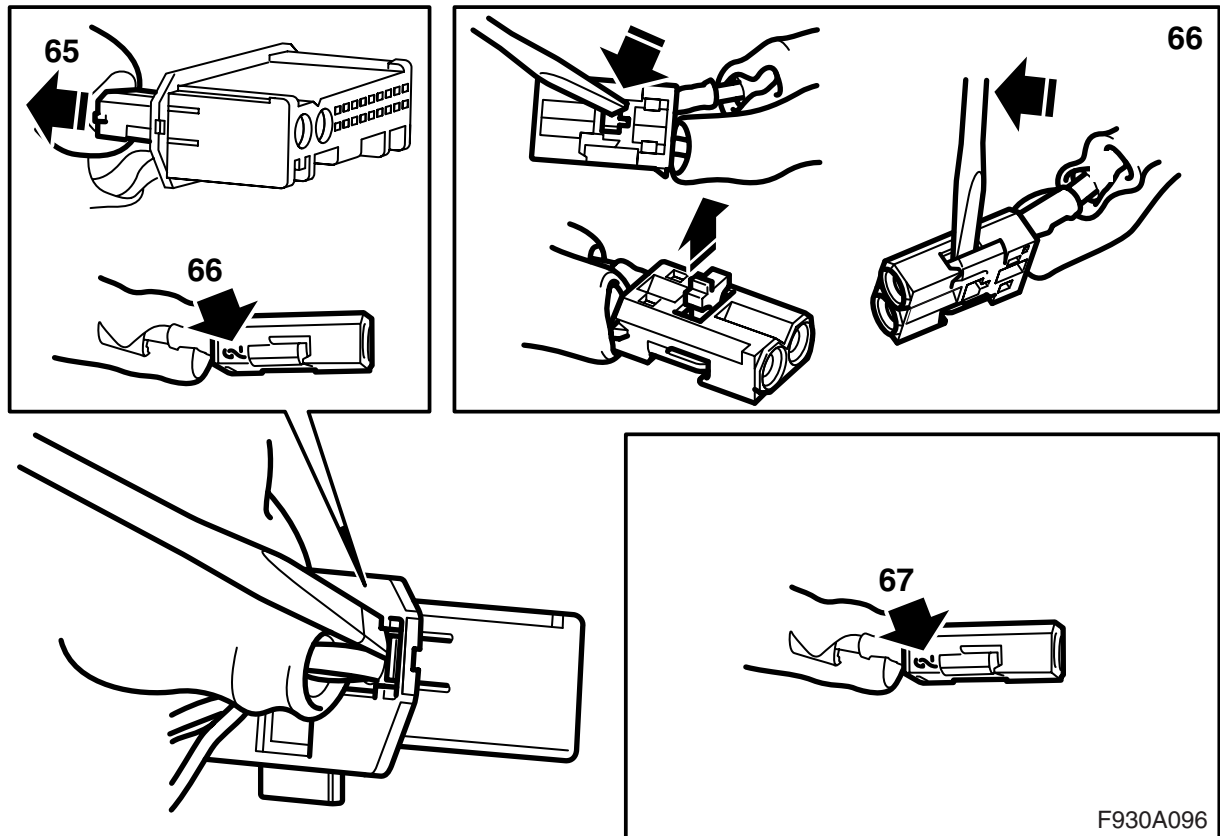
緑色でマークされたファイバーケーブルのない車では、テープでマークをつけておいたファイバーケーブルを位置 2 に、マークをつけていないもう一方の接続部を位置 1 に取り付ける必要がある。

ロッキングクリップを取り付ける。

- 61 小型コネクタを大型コネクタに取り付ける。
手順 73 の作業を続ける。

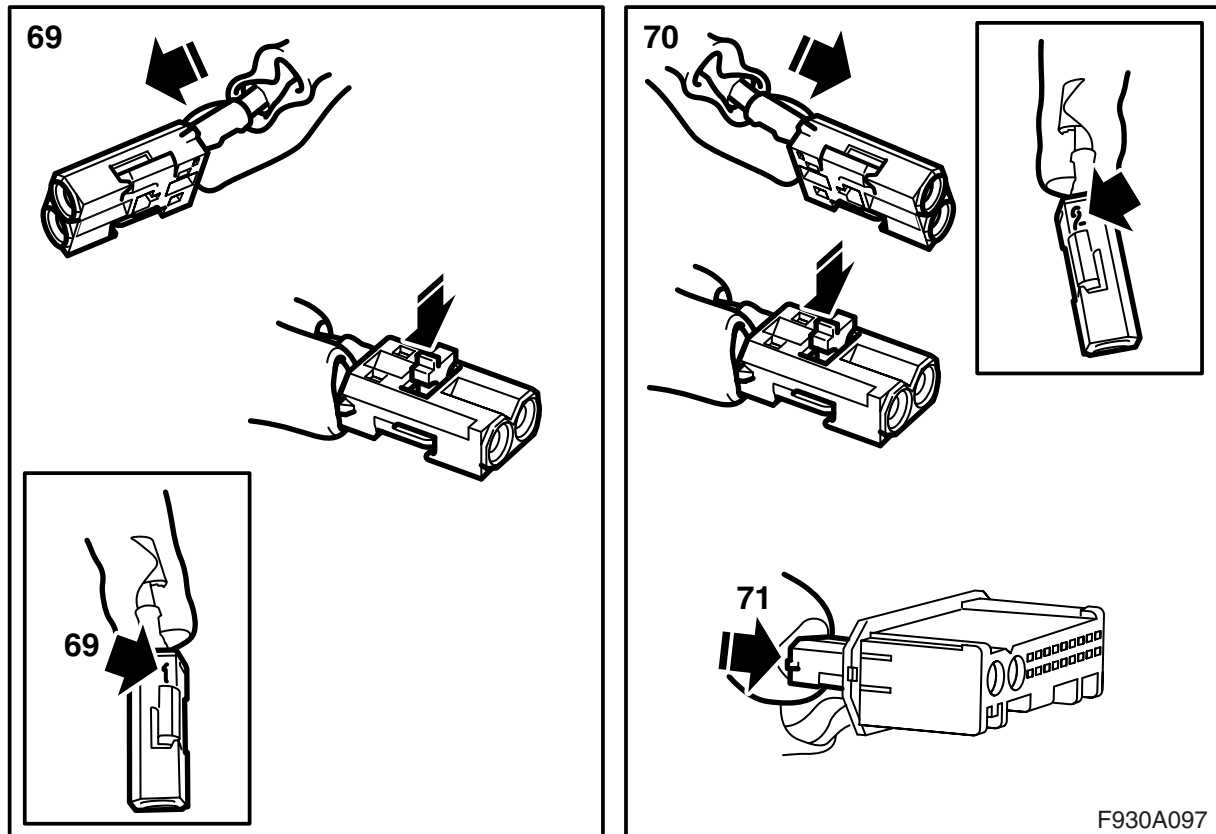
警告

赤い可視光線はレーザークラス 1 である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。



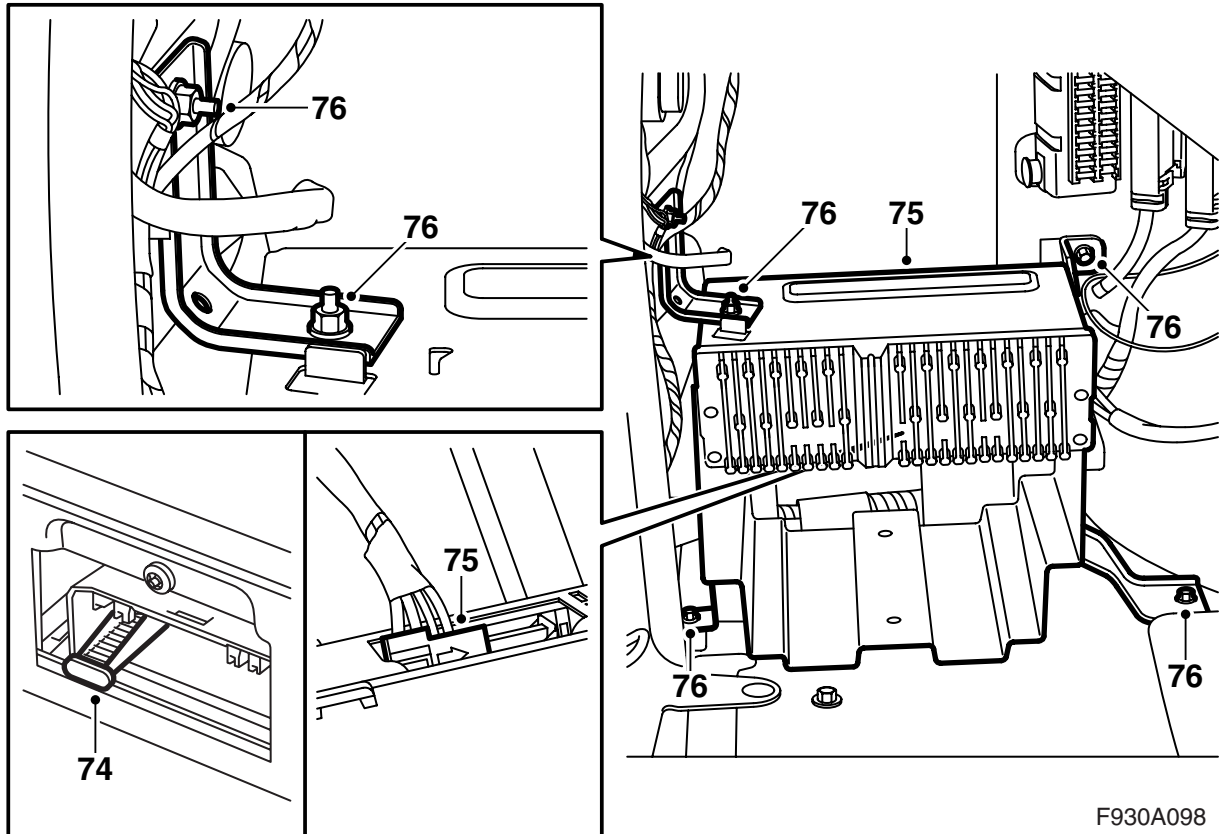
REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットが取り付けられている車

- 62 ブラケットを取り外し、アクセスしやすくするために外側に移動する。
- 63 REC (リアエレクトリカルセンター) そばのアンプ用コネクタを探し出す。テープを取り外し、コネクタを引き出す。
- 64 アンプコネクタにカバーを取り付ける。
- 65 **CDチェンジャーまたはDVDプレーヤーがREC(リアエレクトリカルセンター) そばに取り付けられている場合**：CDチェンジャーのコネクタ、DVDプレーヤーのコネクタを取り外し、大型コネクタから小型コネクタを取り外す。
- CDチェンジャーまたはDVDプレーヤーがREC(リアエレクトリカルセンター) そばに取り付けられている場合**：CDチェンジャーのコネクタを取り外し、大型コネクタから小型コネクタを取り外す。
- 66 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：コネクタのクラスプを開き、キャッチを注意深く持ち上げることにより、取り外されたコネクタの位置2に接続されたファイバーケーブルを取り外す。
- 67 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：ファイバーケーブルの接続部をキットのコネクタの位置2に取り付ける。
- 68 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：オプションキットのファイバーケーブルの各接続部からカバーを取り外す。



REC (リアエレクトリカルセンター) そばにブラケットが取り付けられている車

- 69 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：キットのファイバーケーブルの片方の接続部をキットのコンネクターの位置1に取り付ける。クラスプを取り付ける。
- 70 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：キットのファイバーケーブルのもう片方の接続部を取り外したコンネクターの位置2に取り付ける。クラスプを取り付ける。
- 71 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：小型コンネクターをCDチェンジャーもしくはDVDプレーヤーの大型コンネクターに取り付ける。
- 72 **CDチェンジャーおよび/またはDVDプレーヤーが取り付けられている場合**：CDチェンジャーのコンネクターもしくはDVDプレーヤーのコンネクターを接続する。
手順73の作業を続ける。



73 アンプ用のコネクタをブラケットに挿入する。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

74 アンプのファイバーケーブル接続部をおおっているカバーを取り外す。

警告

赤い可視光線はレーザークラス1である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が20 mm未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。

75 アンプをブラケットに取り付けるが、このときカチッという音が聞こえる必要がある。アンプを接続してブラケットを合わせこむ。

重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

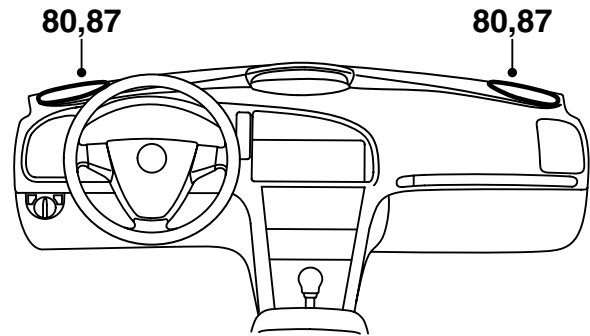
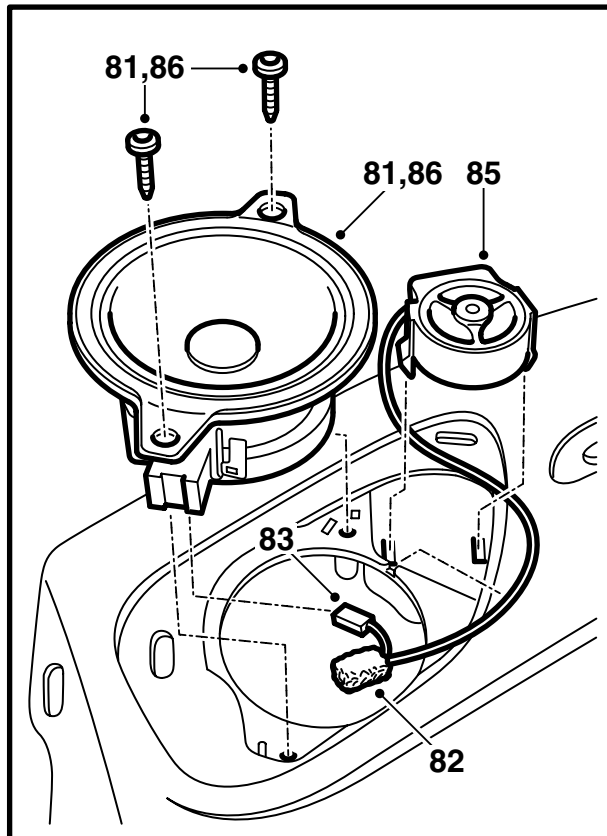
- コネクタ内の2本のファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

76 ブラケットを取り付ける。ブラケット天面の各ナットもしっかり締め付ける。

77 各サイドトリムを取り付ける。

78 トランクルームの左サイドトリムに新しいリッドを取り付け、右側のリッドを上げる。

79 トランクルームフロアを下ろす。



F930A099

- 80 フロントスピーカーグリルを取り外す（工具 82 93 474 を推奨）。
- 81 各ブロードバンドスピーカーを取り外す。
- 82 各ブロードバンドスピーカーからコネクタを取り外し、そのコネクタを各トゥイーターに接続する。発泡樹脂スリーブをスライドして各コネクタに被せる。
- 83 各トゥイーターからのコネクタを各ブロードバンドスピーカーに接続する。
- 84 ワイヤハーネスを各ブロードバンドスピーカーの穴に通して下に敷設し、各トゥイーター用ワイヤハーネスをそれぞれのみぞに配置する。
- 85 穴に押し込んで固定することにより、各トゥイーターを取り付ける。
- 86 各ブロードバンドスピーカーを取り付ける。
- 87 スピーカーグリルを取り付ける。
- 88 バッテリーのマイナスケーブルを接続する。
- 89 日付と時刻を調整する。
- 90 キーをイグニッションスイッチに挿入することにより、リモコンのコードを同調させる。

重要事項

これは全てのキーで実施する必要がある、これを実施しないと各リモコンが正しく作動しない。

- 91 サイドウィンドーを2回上下させることで、パワーウィンドーの挟み込み防止機能を作動させる。作動が完了すると音による合図が出る。

- 92 診断ツールを接続し、車のモデルと年式を選択し、「全て」を選択し、「追加と削除」を選択して、アクセサリを選択し、「追加」を選択する。

注記

診断ツールは、場合によって TIS セーフティコードを必要とすることがある。このコードの入手方法は、診断ツールのディスプレイに表示される。

- 93 システムが正しく作動することを確認する。